

# 主はまことの光

2022年12月25日  
降誕節

ヨハネ 1・1～18

ヨハネ 3・16～21

ヨハネ 8・12 「わたしは、世の光です。わたしに従う者は、決してやみの中を歩むことがなく、いのちの光を持つのです。」

序：ヨハネはガリラヤ湖の漁師

深遠な内容の福音書 聖霊に導かれた 降誕物語の形式 ×  
創造第一日目「光よ、あれ！」 メシアはいのちの光

## I. イエス・キリスト

### (1)ことば

伝達的手段 (見えない神を知らせる、見せる、解き明かす 1・18  
御子を見た者は父を見た 14・9

### (2)神

∴ 神とともにおられた 神の独り子  
すべてのものの創造者

### (3)いのち

いのちの源 ∴御子のうちにいのちがある ⇒ 信じる者に永遠のいのちを  
与える

### (4)光

やみを照らす すべての人を照らすまことの光  
やみの中に輝いている  
やみに勝利している 光が一筋でも入ればやみでなくなる

### (5)恵みとまことに満ちておられる 1・14、17

契約に表れた慈しみ  
対する誠実さ 旧約がイエス・キリストにより実現

## II. どのようにして来られたか

### (1)神によって生まれた

肉体をまとして

### (2)父なる神が御子を世に遣わされた

### Ⅲ. 理由と目的

(1) 世を愛された

神に敵対、やみ

(2) 世（罪人）を救うため

御子を信じ受け入れる者は救われる

### Ⅳ. 世の反応

(1) 世はこの方を知らない（世におられ、世を造られたにもかかわらず）

モーセを通して、律法が与えられていたユダヤ人も

(2) ご自分の国（イスラエル）に来られたのに、民は無視・拒否

国民として

主の地上再臨直前に主に立ち帰る

(3) 光よりやみを愛した

神の愛を拒み、光から逃げた

罪、悪い行いが明らかになるのを恐れる

(4) さばきをおそれる（終末のさばきと考えている）

しかし、今、現にさばかれている

救い主を認めない、やみを愛する生き方がすでにさばき

### Ⅴ. だれが救われるのか

(1) この方を受け入れた人々

その名を信じた人々

名：ご性質と御業

預言されていた救い主＝イエス・キリスト

1・12

神の子どもとされる

(2) 御子を信じる者は皆

3・16

滅びない

永遠のいのちを持つ

(3) 真理を行う者、光のほうに来る者

3・21

行いが明らかになる

### Ⅵ. 御子を信じた者は今

罪赦され、永遠のいのちを持っている

御国への保証として、聖霊が内に住んでおられる

おそれなく、神に近づくことができる（キリストのとりなし）

正しいさばきがなされることを切望する

神に愛されている者として、神を愛し喜び、神に喜ばれる生活をささげる

救いの完成に向かって、希望と平安をもって歩んでいる

栄化

イエス・キリストは世の光（源）、キリスト者も世界の光（反映）